



楨村浩碑前祭 6月1日

不屈

「不屈」

No.564 付録
高知版No.409
2021.6.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
高知県本部

発行責任者
森岡 幸一
TEL・FAX
088-841-0072

楨村浩碑前祭

6月1日に楨村浩碑前祭を行いました。

参加者は間島バルチザンの詩碑前に集まり岡村会長が挨拶しました。石碑がこの地に設置された経緯、詩人楨村浩に対する熱い思いも語って頂きました。

続いて女性3人による作品朗読(明日はメーデー)が披露され楨村浩を偲びました。

今年の取り組みは、詩碑の白地が読めなくなっていると会長から話があり、幹事会で検討の結果、修復する事にしました。費用は少額ではありませんが、コロナ禍で同盟支出の減少もあり補修費に使わせてもらう事にしました。

碑文が鮮明になり表面のつやで一層輝きを増しています。会員の皆様、磨き上がった石碑

を是非見に行ってください。

楨村浩の顕彰活動は秋の命日墓参に続き今後は生誕日に碑前祭を開催する事に決めています。広く市民に宣伝し、高知県に於ける治安維持法により犠牲となった方々の顕彰活動の一環として取り組んで行きたいと考えています。



森岡

故 猪野 睦氏 作品
埋もれてきた群像より

「田園の花」 (三)

『田園の花』は斗賀野村でだ
すがり刷り百部の雑誌であり、
読者もほとんど村内だった。
そのため誌上の作品が、世
の批評の対象となることもな
いままつぶされ、村内に封じ
こめられ、その後忘れ去られ
てきた。知られざる作品群だ
った。

この『田園の花』の詩は一
九七九年、『土佐プロレタリア
詩集』に収録し、それから再
録のかたちで一九八七年に新
日本出版社がだす『日本プロ
レタリア文学集』第三十九巻
に載った。半世紀をこえて全
国的批評の対象とされた。お
そらく自分たちの書く詩がそ
んな質の高いものとは思って
も見なかつたろう。書かねば
ならない現実の問題を作品化
してきたのだった。

『日本プロレタリア文学集』
に収録された詩は、二号の西
森輝生の「章魚人夫」、永田徹
の「育て力強く」、三号の大西
宣夫の「休日に」だった。広
海大治、田村乙彦、藪田忠夫
だったが、広海大治の「章魚
人夫」と藪田忠夫の「休日に」
は長編詩であり、当時のプロ
レタリア詩の水準を抜くとい
っていいものだった。三人と
も『戦旗』や『ナツプ』、『プ
ロレタリア文学』を読んでい
たが、これらに載る詩は硬直
していた。『田園の花』の
詩は、もつとちがった現場の
現実をリアルにかく詩法をあ
みだしている詩だった。

西森輝生の短歌に「すり切
れたデンペン靴の跡残し人夫
が干鱈ぬすむ吹雪夜(樺太で)」
が創刊号にあったが、「章魚人
夫」はその樺太開発の収奪現
場のすさまじさをかいた詩だ
った。田村乙彦の「育て力強
く」は被差別部落少年へのは
げましであり、藪田忠夫の「休

日に」は、製糸女工への、た
たかいの手つなぎをさしのべ
ている詩だった。

当時、槇村浩とならんで、
こういう詩が手製の村内ガリ
刷り誌にかかれていたことを
知るものは、村内をのぞいて
はいなかった。プロレタリア
文学運動にたずさわるものに
は、自分たちでつくりだす以
外に発表機関そのものがな
かった。

槇村浩は一九三二年二月の
『大衆の友』へ「生ける銃架」
が載り、四月二十一日の一斉
検挙までのわずか三カ月ばか
りの間に『プロレタリア文学』
『大衆の友』作家同盟発行の
詩パンフレットなどにあわせ
て四本の詩が発表されたが、
ほかのものは発表機関をもつ
ことができなかった。

作家同盟高知支部が機関誌
『赤いラッパ』をだすが即発
禁にされるといふふうに行
自体が困難だった。『田園の花』
もいわば、妨害や弾圧やメン

バーの検挙をはねのけながら、
かるうじて四号まで半年たら
ずの間、だすことができた機
関誌だった。

こういうなかで『田園の花』
は皆で読み皆でかくという方
式の根を張った読者に守られ
てきた。そしてよく創刊号、
二号、三号が半世紀以上たつ
た今日に残ってきたというべ
きだった。

二十年をこす昔になるが
『田園の花』をたずねて氏原
利秋のところへ行つた。

藪田忠夫の実弟藪田拓も同
道してくれ、永野の田村三吉
のところへ行つたとき、だし
てくれたのが二号だった。
一冊のこつていた。同じく物
置の棚に古びた謄写板があつ
た。その謄写板がかつての『田
園の花』を刷りあげた武器だ
った。そのとき氏原利秋に山
の中をかくしまわつたという
話もきいた。特高にねらわれ
続けた武器だった。『田園の花』
をつぶされたあとは農民運動

のビラづくりに使われた。「ヒ
デリつづき おまけにシケ
マユは安いし不景気だ 小作
米をウンとマケて貰はう 一
期証文による 土地取上ハ絶
対反対しよう 百姓の相談ご
となら 小作料減免同盟へ
斗賀野村責任者田村」という
田村乙彦のつきすすむ姿を伝
えるビラがのこっている。

戦争のころ高知で

藤原 義一

金属類回収令と山内一豊の馬に
またがった銅像

1941年8月30日、金属
類回収令が公布され、その後1
943年8月12日、全面改正
されます。

日中戦争からアジア太平洋戦
争にかけて戦局の激化と武器生
産に必要な金属資源の不足を補

うため、官民所有の金属類回収
を行う目的で制定されたもので
す。

1945年、回収対象にアル
ミニウムを追加する改正が行わ
れます。この勅令は内地では1
941年9月1日から、外地の
朝鮮、台湾、樺太、南洋群島で
は同年10月1日から施行され
ます。

1942年5月9日金属回収
令による強制譲渡命令を公布、
5月12日に発動します。庶民
が提供できるのは鍋やベゴマ
とわずかな金属製品のみで、不
足を補えるほどではありません
でした。

第2次世界大戦末期には不足
が深刻化し、四式陶製手榴弾の
ような金属の使用を減らした兵
器の開発も行われます。

各地の学校の二宮金次郎や地
元の偉人の銅像なども供出され
ます。

高知市では高知城の東麓にあ
つた山内一豊の馬にまたがった
銅像も供出されます。

仙台城にあつた伊達政宗の騎
馬像(小室達さん作)は供出さ
れたものの、上半身が放置され
ていたなど、資源化が間に合わ
なかつた事例もあります。
寺の鐘樓の鐘や大仏像なども
回収の対象となりましたが、西
宮神社の狛犬像は免れます。
金属類回収令を受け、日用品
の素材として「代用陶器」が開
発されます。

当初は通常の陶磁器の域であ
つたが、製造時にベークライト
などを混合することで鉄器に近
い強度を持たせることに成功し
ます。

1945年10月19日、閣
議で「戦時法令の整理に関する
件」が決定され、工場事業場管
理令等廃止ノ件で廃止されます。

参考文献

岡林清水さん著『高知県文学
散歩』(高知県文化振興事業団。
1992年3月21日)。

女性部の広場

昨年から全国的に連日コロナ
ウイルスについて各地の状況が
報道されています。

こういう状況下の中で、なか
なか県外に出掛けるといふ事
もならず年未年始、GWを過
ごしました。我が家には6歳の
娘が居り休日はどこかに出掛け
たい〜と元氣いっぱいです。

そこで、近場で楽しめる所を
いくつか探し家族で行こうと
いうことになり今まで知って
いたけれど行つたことがない場
所・・・

まずは、香我美町のチューリ
ップまつりに行きました。高知
最大級というだけあり100品
種以上10万本を超えるチュー
リップが咲いていました。娘は
嬉しくてとてもはしゃいでいま
した。話題の「鬼滅の刃」をイ
メージしたチューリップアート
もありました(笑)

そして、香南市のアクトラ
ンDにも行きました。博物館や歴

史館などもありましたが、娘は屋外にある全て手動仕様の遊園地がお気に入りです。自転車を漕ぐとぐるぐるメリーゴーランドの様に回る遊具で「見て～見て～♪」と言ってずっと遊んでいました。

お天気が良い日は出来るだけ公園に行ったりもしていますが、やはりちよつといつもと違った所にお出掛けしたいと思うようです。いつまで自粛をする生活が続くのかまだ分かりませんが、工夫をして楽しく休日を過ごせたら良いなと思います。次は、土佐市の新居緑地公園に行こう！と計画しています。



島崎里美

5月幹事会報告

☆同盟員

265名

入会者 1名

☆署名(年度最終計)

個人署名 813筆

団体署名 9筆

国会請願は5月12日。

集まった署名は中央本部に託しました。

※コロナ禍とは言え、昨年に続き署名の落ち込みが続いています。1年を振り返り今後の署名集めについて議論をしました。

☆専門部会

部会報告はありません。

☆財政

☆女性部・青年部

☆その他

次回幹事会で総会議案の検討を行います。

「伊藤千代子」映画製作ニュース

主演俳優決定

井上百合子さん

プロフィール

1995年千葉県生まれ。2018年武蔵野美術大学造形学部卒。演劇集団・円会員

【芸歴】

〈舞台〉「見よ、飛行機の高く飛べるを」(円研究所卒業公演)。(テレビ)「刑事7人」他

構想3年、いま甦る千代子のころざし タイトル発表

わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

独立プロ・桂壮三郎監督作品・原作・藤田廣登著『増補版・時代の証言者伊藤千代子』10月からの映画撮影開始にあたり、桂監督は、主演俳優決定の5月12日、映画のタイトルを発表しました。

監督は、この新タイトルにかかる思いを次のように語りました。

「伊藤千代子が、人々の幸せのために悔いることなき青春を燃焼させ、治安維持法弾圧と長期の獄中闘争のなかで地しぼりの花に寄せて命がけでたたかう決意をこめて生きた、その姿をこのタイトルに込めました」

桂監督から千代子役に井上百合子さん(劇団・円企画所属)を決定したと紹介。

5月12日夜、主演決定の報を聞いて、首都圏はじめ苫小牧、長野、愛知、滋賀県などからの参加者60人が全労連会館に集いました。